

宣傳に於ては宣傳週刊を週してピラ十二萬枚貼りピラ七千枚を配布、講演會四回座談會八回の儀。而して二箇年間に取扱つた紛争十三件に達し組合費の大部分は之れに用したのである。次に多年念願した労働會頭事務所は一十二日稼働を没して建設することが出来た。  
組合人事に於て本年一月二十七日山川郡の森本男君が脱走し其の後に許安社二地君を本郡執行委員兼支部主宰に、同九月十三日和座郡の山木戸初太郎君脱走其の後に森田君を本郡執行委員とし、支部主宰に宮本君を天々推薦した。かくの如く内即ち動搖あつたが、昭和八年八月以降各灰坑に對して賃銀値上の報告又を發送し或は亦爆發問題には抗議又等を怠る等活版なる協助をなしてゐるのである。

上、各支部情勢報告

○

瀬屋支部

宮

本

平

和座地方は海軍灰坑、龜山灰坑、高田灰坑を除けば後は小灰坑で労働條件も非常に悪い。

昨年高田灰坑で日石本郡指考のストライキをやつたが争議後は灰坑の労働行坂が改善された。

長懸灰坑では去る七月十二日暴力事件が發生して組合員森田君が重傷して醫務問題となり、十月十五日和解した

か暴力責任者は罰金六千圓に處せられたのである。最近の坑内争議の類に對しては積極的に嚴重なる抗議を繰り返すと共に生協協の防衛に努めてゐる。

○

出川支部

許

安

親

三

郎

眞岡灰坑の争議では村長、區長、區評議員等が若々の